

樹氷原への行き方



▶ 蔵王ロープウェイ山麓線(蔵王山麓駅=樹氷高原駅) ⇕乗換➡ 山頂線(樹氷高原駅=地蔵山頂駅)

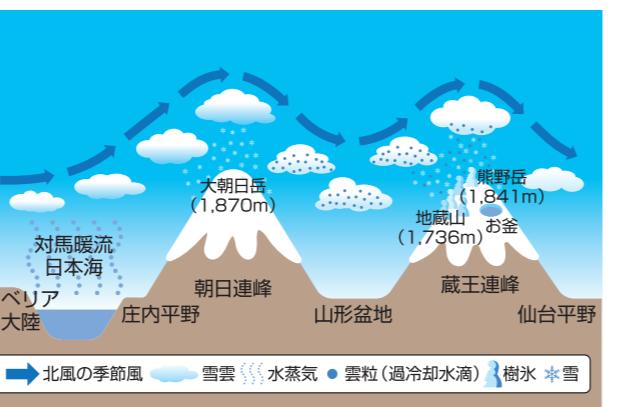
▶ 蔵王中央ロープウェイ(温泉駅=鳥兜駅) ➡ 中央第2ペアリフト ➡ パラダイス第3ペアリフト ➡ パラダイスペアリフト

▶ 蔵王スカイケーブル(上の台駅=中央高原駅) ➡ 見返リフト ➡ 中央第2ペアリフト ➡ パラダイス第3ペアリフト ➡ パラダイスペアリフト

こうして“蔵王の樹氷”は生まれる

樹氷は、東北地方の奥羽山脈の一部の山域（八甲田山、八幡平、蔵王連峰、吾妻山）の亜高山地帯にしか確認されず、海外でもはっきりした報告はありません。樹氷ができるためには、次のような特殊な条件が必要だからです。

- 着氷と着雪の基になる多量の過冷却水滴と雪が、常に一定方向の強風で運ばれてくること。(風向が一定しないと、樹氷は成長しません。気温が高いと雪が解け、また低すぎても雪がつきにくい。)
 - 植生として、「アオモリトドマツ(学名:オオシラビソ *Abies mariesii*・亜高山針葉樹林の代表種)」などの着氷と着雪の起こりやすい常緑針葉樹が自生していること。(ブナなどの落葉広葉樹では氷や雪がつきにくい)
 - 積雪が適量であること。(雪が多すぎると、「アオモリトドマツ」は埋没します。また少なければ、当然樹氷はできません。なお、蔵王の樹氷原の積雪の深さは、平年で2~3m程度です。)



樹木観賞のお願いとご注意

- ①樹氷は時期、気象によって形、見え方が異なります。
 - ②お客様の安全と樹氷保護のため、所定のエリアでご観賞ください。(安全ロープの外には、決して立ち入らないでください。)
 - ③樹氷は貴重な自然現象です。決して直接触らないでください。
 - ④防寒対策を万全にしてください。特に「樹氷ライトアップ」では-10℃以下になりますので、更にお気をつけてください。なお、山頂駅では、長靴の貸出(数量限定)を行なっています。
 - ⑤樹氷原には、蔵王ロープウェイ山麓線と山頂線を乗り継いでいきますが、雨天、濃霧、雷、強風のいずれかの天候で、又は天候の回復が見込めない場合は、中止することがあります。運行確認をお願いいたします。また、山頂展望台も立ち入り禁止になる場合もあります。
 - ⑥スノートレッキング等で観賞エリアの外に出る場合は、入山届の提出と蔵王山岳インストラクター又は冬山登山経験者の同行をおすすめします。

樹氷のお問い合わせ

蔵王ロープウェイ蔵王山麓駅
TEL:023-694-9518

検索

蔵干温泉のお問い合わせ

藏王温泉観光協会
TEL:023-694-9328

藏王温泉 検索

山形の観光のお問い合わせ

形市観光案内センター
TEL:023-647-2266

山形十二花月 検索

A circular promotional graphic featuring large red Japanese text on a blue background. The text reads "蔵王に行こう! 樹氷を観に行こう!!" (Let's go to Mount Zaō! Let's go to view the snow trees!!). Below this, in a smaller white font, is the message "アオモリトドマツ再生! 美しい‘蔵王の樹氷’を次世代へ" (Aomori Todomatu regeneration! Pass on the beautiful 'Mount Zaō snow trees' to the next generation). The background of the circle shows a snowy landscape with a gondola lift and a forest of tall evergreen trees.



魔王連峰(奥羽山脈の一部)の特殊な気象条件と植生が造り出す、世界でもあまり類をみない“氷”と“雪”的藝術品

一つとして同じものではなく、刻々変化するその姿は、雄大で繊細

スノーモンスター」とも呼ばれている“蔵王の樹氷”は、大自然の驚異を体感する山形の郷土遺産 -宝物-



アオモリトドマツ再生! 美しい“蔵王の樹氷”を次世代へ

蔵王に多く自生する針葉樹、樹氷になる木「アオモリトドマツ」。しかし、その「アオモリトドマツ」は、平成25年(2013)に発生したトウヒツヅリヒメハマキの食害と平成28年(2016)以降に衰弱した木がトドマツノキクイムシの被害により、広範囲に枯死する深刻な状況に。

年々その姿も小振りで期間も短くなっている。

近い将来、今までのような“蔵王の樹氷”が観られなくなるかもしれない。

だからこそ、今、みなさんに“蔵王の樹氷”的姿を観てほしい！

“蔵王の樹氷”を知ってほしい！

「観ること」「知ること」が“蔵王の樹氷”を守る第一歩！



以前のアオモリトドマツ



現在のアオモリトドマツ
※地蔵岳

“蔵王の樹氷”があぶない!!

オオシラビソの生態

オオシラビソ(アオモリトドマツ)は、多雪地帯の東北地方に多い針葉樹であり、樹氷を形成する樹木のひとつである。最大で標高40m、直径1mに達する大木となる可能性があるが、山岳地帯の過酷な環境のため、ほとんどの場合はそれほど樹高にはならない。

オオシラビソの寿命は一般的に約300年とされ、成長は非常に遅く、小さい頃は1年で数cmしか伸びない。同じモミ仲間のシラビソに比べてもオオシラビソは非常に遅い。さらに、実をつけるのは発芽してから50年以上経過後であり、子孫を増やすことは大変なことである。

そして、種子の散布だが、多くのことが未解明となっている。ただ、ホシガラスなどの鳥類による散布の報告はない。散布はほとんどが風のようだが、種に付いている翼が小さくほとんど飛ばないのでどのように分布域を拡大してきたかは解明されていない。

蔵王の樹氷が減っている…?

近年、蔵王の樹氷はものすごい速度で減少している。これは、トドマツノキクイムシの大発生による被害が影響していると考えられている。トドマツノキクイムシは、ゾウムシ上科キクイムシ科ヨツメキクイムシ属の1種であり、オオシラビソなどを含むモミ属の樹皮下に穿孔して、内樹皮を加害する。さらに、気温が15°C以上になると飛翔する性質がある。

大発生の要因として2つあると考えられている。1つは、トウヒツヅリヒメハマキの大発生である。平成25年(2013)から平成28年(2016)の間、蔵王にて大発生した。トウヒツヅリヒメハマキの幼虫はオオシラビソの葉を食べるため、樹氷の生成を妨げていた。被害終息後からトドマツノキクイムシが穿孔しやすい環境になっていることもあり、影響があると考えられている。もう1つは、地球温暖化の影響である。近年の蔵王は15°C以上になる日が多くなり、トドマツノキクイムシが飛翔し、別のオオシラビソに移り加害することで被害が拡大していると考えられる。

国や県の対策

虫害への対策としては伐倒駆除や薬剤散布が挙げられるが、天然林での実施は難しく具体的な対策はほとんどないのが現状である。そのため、倒木や立枯木を除去するなど、キクイムシの密度上昇を防ぐことが重要であるとされている。

オオシラビソを増やすための取り組みとしては、植樹が挙げられる。林野庁山形森林管理署は令和元年(2019)5月30日、蔵王ロープウェイの地蔵山頂駅(標高1661m)周辺でオオシラビソの試験植樹を初めて行った。この地域は国立公園の特別保護地区のため規制が厳しく、自然環境を変えるような対策を行うのは難しい。種をまいたり、下草を刈ることで若木の成長を促したりしているが、打開策を見いだせないのが現状である。今回、環境変化を抑えるために同じ環境下で育つ自生苗に着目し、自然公園法に基づき県に同意を得た上、被害の大きい地蔵山頂駅周辺への移植が行われた。ササを刈払った約10mに約20-30cmの穴を掘り、標高約1300mの区域から採取した20cm程の自生苗10本を職員らが一つずつ植えていった。一度で移植できるのは10本程度で、スギやヒノキの植林のようにすぐには増やせず、10年単位で時間がかかるとされている。標高が高く厳しい環境のため研究事例も乏しく若木が育つかは不透明であるが、定着が進み森林再生に繋がることが期待されている。

資料提供:山形大学・山形大学附属博物館

1

安全に快適に。 ロープウェイで 360°大迫力の 樹氷原パノラマへ！

温泉街から雪上を歩かなくてもロープ
ウェイ(2本乗車・最短約18分)で、雪原
を埋め尽くす360°樹氷に囲まれた樹
氷原に直行！



3

4つのビューポイントで樹氷ウォッチング！

蔵王ならではの体感スポットで、思う存分、樹氷を満喫！

ロープウェイ 車窓

最新の循環式18人乗り
のゴンドラで、ゆったり
座って大きな窓から樹
氷原を望む空中ビュー。

地蔵山頂駅前 観賞エリア

ロープウェイ山頂駅を
降りれば、目の前に樹
氷群。迫力のスケール
を間近で体感。(ただし
安全ロープ内でご観
覧ください)

地蔵山頂駅 テラス

オープンデッキの展望台
から360°絶景の樹氷原
を一望。雲、風の流れ、
山々の遠景なども見所。
(ただし悪天候の場合利
用できません)

地蔵山頂駅 レストラン

暖かく大きな窓から快
適に観賞。寒さが苦手な
人にもオススメのレス
トランビュー。

4

樹氷の見ごろ

樹氷見頃

例年／12月下旬～3月上旬(最盛期／1月下旬～2月下旬)

※時期は目安です。

12月

1月

2月

3月

ライトアップ開催時期

例年／年末年始、1月週末、2月(詳しい開催日は、お問い合わせください。)